

# サクッとわかる社会福祉法人経営実務検定試験 会計1級 公式テキスト&トレーニング (2022年10月10日 初版 第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP[「ネットスクール」検索→「読者の方へ」]にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2023/11/16

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
29	取引 収益の繰延べの資金仕訳	資金仕訳 決算時の資金仕訳はありません。	資金仕訳 (借) 受取家賃収入 400 (貸) 支払資金 400	2022/11/8
31	長期前払費用の処理 (2)期末の仕訳の借方科目	(借) 1年以内償却予定長期前払費用 12,000	(借) 前 払 費 用 12,000	2023/9/5
34	取引 収益の見越しの資金仕訳	資金仕訳 資金仕訳はありません。翌期に受取利息配当金収入 600 円が計上されます。	資金仕訳 (借) 支払資金 250 (貸) 受取利息配当金収入 250	2022/11/8
112	取引 ファイナンス・リース取引 (利息法)の資金仕訳	資金仕訳 (1) 資金仕訳はありません。 (2)及び(3)	資金仕訳 (1) 資金仕訳はありません。 (2)	2023/11/16
231	例題<解答>  ○みなし仕入率の計算  ○控除対象仕入税額の計算  ○納付税額(国)	○みなし仕入率の計算 $\frac{830,466 \times 70\% + 123,318 \times 60\%}{830,466 + 123,318} = \frac{655,317}{953,784} = 68.707\%$ ○控除対象仕入税額の計算 $953,784 \times 68.707\% = 655,316$ ○納付税額(国) $953,784 - 655,316 = 298,468 \rightarrow 298,400$	○みなし仕入率の計算 $\frac{830,466 \times 70\% + 123,318 \times 60\%}{830,466 + 123,318} = \frac{655,316}{953,784} = 68.70\cdots\%$ ○控除対象仕入税額の計算 $953,784 \times 68.70\cdots\% = 655,315$ ○納付税額(国) $953,784 - 655,315 = 298,469 \rightarrow 298,400$	2022/11/15
305	point (1)事業に活用している不動産等	不動産等のB/S 価額 - 基本金 - 積立金 - 対応負債	不動産等のB/S 価額 - 基本金 - 国庫補助金等特別積立金 - 対応負債	2022/12/1
352	II 控除対象財産 4 特例の判定	$1,156,000 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円} = 1,456,000 \text{ 円} \geq 1,200,000 \text{ 円}$	$1,156,000 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円} = 1,456,000 \text{ 円} > 1,200,000 \text{ 円}$	2022/11/8
357	②賞与支給時(令和5年6月) 仕訳上2行と*3	(借) 賞与引当金 20,240,000 (貸) 現金預金 25,080,000 * 3 職員賞与 8,800,000 * 1 職員預り金 3,960,000 * 3 26,400,000円 - 1,320,000円 = 25,080,000円	(借) 賞与引当金 17,600,000 (貸) 現金預金 22,440,000 * 3 職員賞与 8,800,000 * 1 職員預り金 3,960,000 * 3 (17,600,000円 + 8,800,000円) - 3,960,000円 = 22,440,000円	2023/7/25
385	解説 (6)	時価が取得原価から概ね50%以下に下落している場合をいいます。	時価が帳簿価額から概ね50%を超えて下落している場合をいいます。	2022/12/1

ISBN978-4-7810-0329-0 C1034 ¥3200E